



座光寺風景

勇壮で気迫に満ちた舞を — 伝統を受け継ぐ壯年団 —

(財長野県市町村振興協会の助成により、獅子頭、屋台幌、越子獅子頭、獅子曳きのかつらが新調されました。)

発行	座光寺地域自治会
編集	公民館委員会
印刷	広報部
株南信州新聞社	
人のうごき	
世帯数	1,533戸
人口	4,692人
男	2,301人
女	2,391人
(22年2月末日現在)	

新獅子頭で
力一杯舞います

座光寺壮年団長 棚田浩二

さて、今年も春の便りが聞こえ、春祭りの季節がやってきました。今年の麻績神社春祭りは、四月三日土曜日に宵祭り、四月四日の日曜日に本祭り。そこで、今年の麻績神社様、前五年様その他関係者のお力添えもありまして、獅子頭、屋台幌、越子獅子頭、獅子曳きのカツラの四点が新調され、我々も大変喜んでいます。

また、今年は七年に一度の飯田お練り祭りが開催され、座光寺麻績神社若連中としても、二十八日の日曜日に参加するように考えております。座光寺の皆さんには、春祭り、お説き合わせお出かけください。



やぎぶし

花笠を手に長襦袢着用の若い男女のリズミカルな踊りは観衆を魅了する人気の出しど物。練習にも力が入ります。

座光寺青年団創立四十周年に発足して以来八十年の歴史を誇り、本年通数八回目の出

奉りに参加する。

ハ木節も
華麗に舞います

り、かわいい獅子曳き、勇壮な獅子舞、優美な越子獅子をご覧いただきたいとおもいますのでよろしくお願ひします。

座光寺PAのスマートIC整備を求め

市長に活性化ビジョンを提言

飯田市に北部地域連絡協議会（会長＝前島功上郷地域まちづくり委員会委員長）は二

を基本方針に掲げ、スマート・インターネットの整備の必要性を訴えました。

四月四日、地域ビジョン策定委員会作業部会（部会長＝佐藤英男）がまとめた中央自動車道長座光寺パークリングエリアでのスマートインターチェンジ整備に向けた「地域活性化ビジョン」を牧野光朗飯田市長に提言しました。

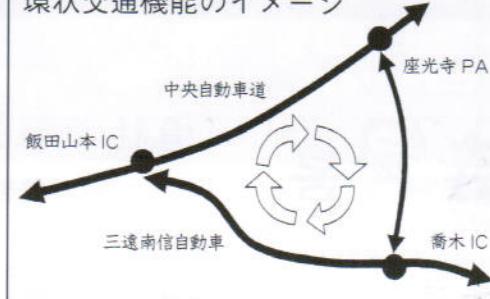
提言を受け、牧野市長は「夢のある、奥深い提案と重く受けとめる」スマートＩＣが地域にとつてどういう役割を果たすか調べ、北部地域が連携してまとめたことに意義がある」と実施に向けて前向きな姿勢を示しました。

II 取り組んだ経過 II

「北部地域のエコミュージアムの形成」と「環境、観光バスポートの活用」による「エコアンドツーリズムの推進」

座光寺、上郷、橋北の三地域でつくる北部地域連結協議会は、二〇〇七年（平成十九年）十二月に総会でスマートIC整備に向けた決議を行い、翌年一月に市長に要望書を提出。

理状況・通機能のインジケーター



ひとり語りを満喫して

熊沢南水先生

いても文化に触れることが大切など気さくに優しく話してくださいました。

今回は忙しい中、一緒に実行委員をつとめて下さった方々もいてとても楽しかったです。今後も気楽にお手伝いいただける方が増えるとうれしいです。勉強になる良い機会となりました。ありがとうございました。

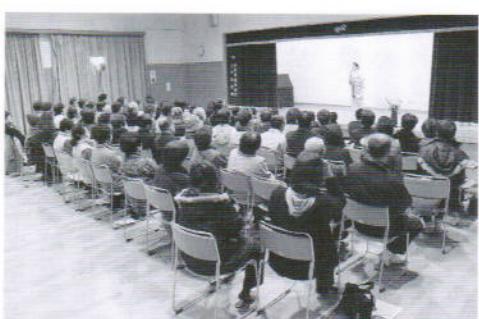
—「南水ひとり語り」の公演は、寒い夜にもかかわらず地区内外からたくさん的人が集まり盛況でした。

計 れ も
と努力で目指すものを習得し、今に至る経緯のお話で、挑戦は何才であってもできるのだと印象に残りました。

第二部では「花の顔（かんばせ）」という文芸作品を語つて聴かせてくれました。重く切ない内容でしたが、映像を

見るようすに情景が浮んで引き込まれ、余韻が残りました。

私は実行委員でしたので、
公演前に南水先生とお話をす
ることができ、田舎に住んで



講演風景

II これからの取り組み II

の花めぐり〇野菜直売所めぐり〇ぐるり博物館、美術館めぐり、〇人形芝居の里めぐりなどを提案。

具体的プランとして、三地域の体験型交流プランに加え、広域連合による交流プランとして、○みなみ信州お寺めぐり（スタンプラリー）○四季

推進体制として「北部地域エコミュージアム推進会議（仮称）」を設置。地域活性化ビジョンの実現に取り組むことにしている。

皆でつくる 座光寺地域文化祭



座光寺のお宝展

今年の文化祭では、バスの運行を行い、利用者からは、「文化祭がゆっくり楽しめたとの声があがりました。また、献血への協力や「いづみの家」のパン販売や、ラーメン・五平餅・フランクフルトの販売や、綿菓子の無料配布など、例年に増して良い文化祭が開催されたと思います。」

学習発表や、芸能発表で日頃の練習成果を、それぞれが発揮していました。

二月七日は朝から晴天に恵まれ大勢の地区民が来場されました。また、他の地域からも毎年楽しみにして来てくれる方もいるそうです。

午後三時からは、「迫り来る中国の力」の題で小島麗逸先生による講演会が開催されました。午後五時からは、地域づくりフォーラム「みんなで作ろう夏祭り」のテーマで今年の夏祭りを座光寺全体で行う為には、どうすれば良いかみんなの意見を出していただきました。

午後七時からは、「種まき大賞」の授賞式を行い、個人二団体の皆さんを表彰いたしました。

座光寺地域文化祭が、二月六日(土)・七日(日)に座光寺公民館・麻績の館・麻績会館を中心に開催されました。オープニングセレモニーでは、小学生の金管バンドの演奏と中学生の吹奏楽部の演奏で開幕しました。

六日午後一時三十分からは、「ふるさとコンサート」としてバイオリンの演奏が解説を含めてありました。

午後三時からは、「迫り来る中国の力」の題で小島麗逸先生による講演会が開催されました。

オープニングセレモニー
高陵中学校吹奏楽部



皆様のご協力に感謝

文化部長 柳沢忠文

力に感謝しております。

座光寺地域文化祭



時局講演会
小島麗逸先生

日頃、公民館の文化活動に對しましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、二月六日・七日に座光寺地域文化祭が行われ、各種団体作品展・特別展・芸能発表・福祉バザー等の皆様の御協力のもと、二十一年度文化祭が盛大に開催されました。座光寺公民館・麻績の館・麻績会館等の会場に、二日間に渡って座光寺地区内、地区外の大勢の皆さんが見えられ、文化祭実行委員一同ご協

力に感謝しております。
今年度は、高齢者の皆様も参加し易いように、マイクロバスも運行し大勢の皆さんに乗つて頂き、文化祭の発表会や作品展・福祉バザー・座光寺の宝・書画展・書道展・小学校児童発表会など、数多くの企画に参加いただきました。今後も、どうかよろしくお願い申し上げます。

座光寺地域文化祭に、ご協力、お力添え本当にありがとうございました。



にぎわった、福祉バザー

一日目に恒例の福祉バザーを行いました。「只今から、福祉バザーを開店します」清水委員長の掛け声で、廊下で待つてくれたお客様がどつと会場へ押し寄せました。我先にとお目当ての品物を手にする様子は、デパートのバーゲン会場さながらです。販売担当の健康福祉委員も、お買い上げの物の計算をしておりを間違えないようにと必死です。売れ筋の良いものはタオル類、洗剤等でした。お茶処も大変好評で大勢の方ご利用して下さり、用意した漬物が午前中で終わってしまったので、急きよ追加した

どつと会場へ押し寄せました。我先にとお目当ての品物を手にする様子は、デパートのバーゲン会場さながらです。販売担当の健康福祉委員も、お買い上げの物の計算をしておりを間違えないようにと必死です。売れ筋の良いものはタオル類、洗剤等でした。お茶処も大変好評で大勢の方ご利用して下さり、用意した漬物が午前中で終わってしまったので、急きよ追加した

健康福祉委員会では文化祭

程でした。

健康福祉委員会

今年は一日だけの開催で、しかも小雪がちらつく肌寒い日でしたが、十三万六百二十五円の売り上げがありました。

十万円は非常災害の備えとして積み立て、残りは地域福祉事業に使わせていただきま

す。二日目は健康講演として、名古屋市立大学大学院自然科学研究科、小泉大亮先生による、ゴムバント（ズクバンド）体验を行いました。ゴムバンドを使って運動することでどういった効果があるかを、説明していただきながら、体を動かしました。参加して下さった皆さん、普段使っていない筋肉をゴムバンド運動で鍛えられるという事を理解していましただけたでしょうか。続ける事に意義があると思います。毎週金曜日麻績の館でゴムバンド運動をしております。見に来て下さい。

その他二日間地元福祉施設のアップル工房より、椎茸の販売。いずみの家よりパンの販売を行い好評でした。

バザーの品物を提供して下さった皆様、本当にありがとうございました。

福祉バザー・ゴムバンド運動で参加

もちつき大会

おいしいもちがつけました

我々健全育成部も公民館委員の一員として、この文化祭

を盛り上げようと、七日(日)に公民館入口で餅つき大会を行いました。

多くの皆さんにつきたての

おいしいお餅を食べていただき、ただ二十キロの餅米を前日から準備して餅つきにのぞみました。

今年度の餅つきは「子供達に参加してもらおう」と各所で声をかけながら行いました。

ついた餅は、味を付けて来場した皆様に無料で御賞味になりました。天候にも恵まれ多くの人出となつた為用意した餅もお昼頃にはすべてなくなり「おいしい」との好評に大変良い文化祭になつたと思っています。

(育成部長 千賀孝紀)



芸能発表会「座光寺音頭」復活



子どもたちの作品展



上手につけたよ

● 中羽場・中河原・欠野地区 様
市民運動会において、地区民総出の参加体制に知恵を絞り、競技は勿論その応援にも様々な工夫を凝らし、地区民老若男女皆元気に参加した。

● 北原貞一様
改良直後の殺風景な唐洞線唐洞地区の環境美化に着目し、長年に亘って、曼珠沙華の植栽やごみ拾いに努められた。

● 中河原地区様
県道上・飯田線の歩道でプランターで花を育て、その美化に努められました。道行く人の心を和ませ、地区的交流

文化祭フォーラムで、夏祭りについて話し合いました。
盆踊りを復活し、地域が元気になったという橋北の事例
発表の後、原、唐沢、中・中・欠の座光寺三地区的祭りなど
の話がありました。いずれの地区からも祭りが終わつてみると以前より、地区がまとまり、元気が出たと報告があり、元気が出たと報告がつて、祭りには地区に大きな効果をもたらす力があるのだと認識することができました。
夏には夏の素晴らしい景色があるのだと認識することができました。

八日の日曜日です。
飯田りんごんの翌日、八月

フォーラム みんなで作ろう夏祭り

ります。それを見つけ、皆でつくり、地域が一つになつて、燃え、楽しむ。それが座光寺の夏祭りです。

みんなで参加し、みんながふれ合い、みんなで楽しみましょう。

(社会部長 今村作衛)



フォーラム

改良直後の殺風景な唐洞線唐洞地区の環境美化に着目し、長年に亘って、曼珠沙華の植栽やごみ拾いに努められた。

● 中河原地区様
県道上・飯田線の歩道でプランターで花を育て、その美化に努められました。道行く人の心を和ませ、地区的交流

● 中羽場・中河原・欠野地区 様
市民運動会において、地区民総出の参加体制に知恵を絞り、競技は勿論その応援にも様々な工夫を凝らし、地区民老若男女皆元気に参加した。

● 北原貞一様
改良直後の殺風景な唐洞線唐洞地区の環境美化に着目し、長年に亘って、曼珠沙華の植栽やごみ拾いに努められた。

● 中河原地区様
県道上・飯田線の歩道でプランターで花を育て、その美化に努められました。道行く人の心を和ませ、地区的交流

種まき大賞

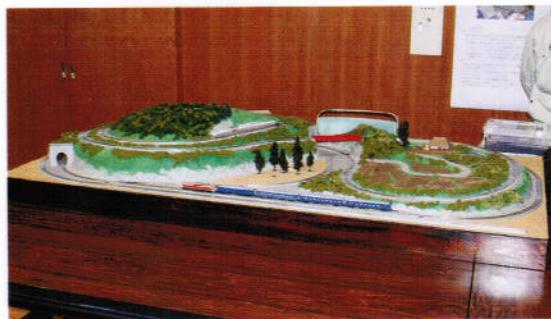
を深め、地域づくりへの姿勢を高めました。



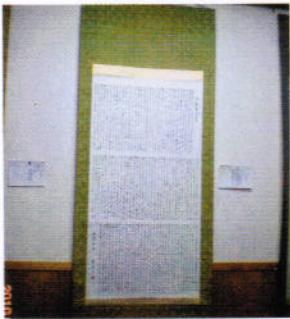
種まき大賞

ふるさとコンサート

京都市立芸術大学生
バイオリン二重奏



飯田工業高校作品展



宮下恵美子氏「書道展」



子供料理教室（食改）



木目込み人形展



にぎわう売店



ゴミ分別体験（環境衛生委員会）

麻績の里ふるさと応援俱楽部

企画委員長 古井武志

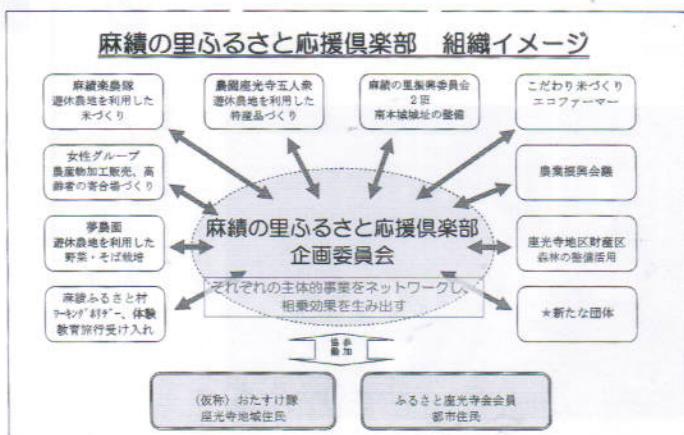
いま、座光寺では様々な組織やグループにより様々な取り組みがされています。いくつかの例をあげれば、財産区による山の整備活用。麻績の里振興委員会の皆さんによる舞台桜の保護活動、竹宵の取り組み、南本城址の整備。岡の森保存会は大切な史跡の保存活動、水辺の広場委員会は阿島橋の上下流域周辺の草刈り作業など環境整備の活動。さらに有志の人々による活動として、遊休農地を利用して野菜や米、そば等を作っている女性グループの方々。「こだわり米」づくりに取り組んでいる中河原の農家グループ。ワーキングホリデー、体験教育旅行を受け入れてい



渋谷区植樹祭

応援俱樂部」です。
一人でも多くの方が、自分の興味ある取り組みに積極的に参加していくだけきこの麻績

長古井武志
「新わい化リンク」の栽培に取り組んでいる営農プロジェクトチムなどです。特に今年度途中から新しいグループがスタート。それは、山ぶどうや山菜づくりをしようと二十人ほどのみなさんの「麻績山ぶどう会」です。どんな山ぶどう、どんな山菜ができるか楽しみです。そのほかにもいろいろなグループ活動があると思いますが、これらの活動がうまく連携しながら相乗効果を生み出し、それが座光寺の里づくりにつながるようにならないかと考えて発足した



アサギマダラの里へ

夢を描いています

一人の気づきや思いがひびき合い波紋になり地域に広がることを願つて、広報に「声の欄が設けられた。

第十号の投稿には赤羽目さんの「アサギマダラの休息地に」である。あの稿以来、私の心にアサギマダラが住み着いた。

サギマダラが校庭を飛んでいた」と聞き、翌日、赤羽目もん宅に出かけた。比較的寒く曇りがちで、その姿が見られるか心配であったが、「いた！」三羽ほどが花から花密を吸つては移っている。しばらく、其の姿を見ているとどこから現われたのか六羽七羽になつた。

近くに寄つても逃げることのないおおらかな蝶である

フジバカマは強い草で、株分けで増えると言う。上段の土手にフジバカマを植えたらどうだろう。毎年少しづつ株分けしていくのである。秋、フジバカマからフジバカマへ渡るアサギマグラの姿が見られるかもしれない。アサギマグラの乱舞が目に浮かぶ。

今年は、数株頂いて植えてみたい。仲間はいますか。

卷之三

多いときには、気持ち悪いほどフジバカマに群がつたと言ふ。「だんだん数が少なくなっている」と赤羽目さん。最近言われる温暖化の影響だろうか?



山ぶどう作り



明治 6 年度座光寺村絵図 (流田・宮の宮・上野周辺)

第二の候補地は高岡の森周辺です。高岡古墳の東側のどこかに「すくじ」という地名があります。すくじとは直道とかすく神といわれます。「すくじん」は郡衙の守護神ともいわれます。すくじの名のあつたことで気になる地名です。高岡古墳の近くに「宮ノ前」という地名が古い記録に残されています。

江戸時代の中頃

座光寺地区は、豊かな自然に恵まれ貴重な歴史と文化の宝庫であります。それらは、先人たちが心を寄せ守り残してくれたものであります。それらを、改めて見つめ直し、記録したり保存活動したり、学び合い文化度の高い「歴史と文化の薫るふる里座光寺」づくりを一層進めようと、新しく「歴史に学び地域をたずねる会」を発足させることになりました。

既に、史学会、麻績の里振興委員会 2 班、高岡の森保存委員会、公民館文化部、社会部、土地利用委員会など各種団体が様々に取り組んでいるところですが、一層連携を密にし、長期的な計画を持って取り組むことが必要であると考えたためです。

出土する古瓦量の多いところは如来寺の北側と金井原ですが、地形からみると瓦を焼く窯のように思われます。この窯で焼かれたものと同じ瓦が下市田から大量発見され、夢は広がっています。瓦は薬師垣外を除けば、寺に多く使

寺」があつたといわれます。そのお宮やお寺は「郡衙地域」の近くで、やや高い位置にあつたと考えられます。郡衙や官衙地域を見下ろす位置といえ、上野の台地・宮脇の台地が、また近くであれば、新井原の何処かが元善光寺駅付近が候補地といわれています。

第一の候補地は現在の麻績神社の前辺りといわれます。そのわけは高岡・恒川の郡庁や五郎田辺りの馬の役所を見下ろす位置にあること、古くから「大宮諏訪社」といわれています。「大宮」と呼ばれる神社は地域の中心の社で、座光寺では「古代伊那郡衙」とかわりがあるともいわれます。宮ノ前地籍に「大宮田」出入口」という地名があります。その南側は流田・やぢょうじですかから、大切な場所であります。

第三実録という中央の歴史の書物に、信濃定額五寺の一つかが伊那郡に有つたと書かれています。その寺は「寂光寺」といいます。この寺がどこにあつたか今以て分かりませんが、手がかりの一つに奈良時代の古瓦が座光寺から多く出土しています。「じやつこうじ」といわれるようになつたという説がありますので、座光寺が有力というわけです。

座光寺で古瓦が発見されたところは、如来寺の北側・上野の金井原・上野段丘下の古瀬平・恒川倉垣外・薬師垣外・新井原の各地であります。薬師垣外の瓦は郡衙の建物で使われたものといわれます。上

野の金井原には瓦を焼く窯と作業場が見付かっています。地形からみれば上野の台地の上か、段丘下の古瀬平かも知れません。新井原からは「押し出し仏」という金剛の仏像も発見されたり、平安時代の火葬墓に使われた灰釉陶器の藏骨器が発見されています。有力な候補地の一つでもあります。

当委員会の活動は、上記の団体の皆さんと、新しくこの趣旨に賛同くださる方々で決めてまいりますが、今のところ次のような内容を考えています。

○自分たちの歩みを記録に残す活動
○地域の自然や人々の暮らしを写真等に記録し残す活動
○地域の自然や歴史を学び、保存する活動
○残された文書資料などをから、座光寺の過去を読み解く活動
○諸資料を集積・整理し、「史料館」を整備する活動

われていますので、古い寺があれば、どこかに崩れ落ちた瓦の固まる所があるはずです

から、そのような所が早く見付かる事を待ち望んでいるわ

けであります。

古代伊那郡衙にかかるお宮やお寺があるか

シリーズ④

郡衙にかかるお宮やお寺どこにあります。

郡衙のお宮はどこにあるか

郡寺（郡衙の寺）もどこにあります。

「歴史に学び地域をたずねる会」が発足します

～地域の宝を探し残す活動に参加してみませんか～

（今村善興）

未来へ 羽ばたく 新成人



去る1月10日(日)グランピューオオミヤにおいて、座光寺・上郷合同成人式が行われました。本年度当地域新成人該当者は51名(男30名、女21名)、座光寺、上郷両地区から来賓をお迎えし、厳粛ななか式典が執り行われました。

全体の進行は、新成人で作る成人式実行委員の皆さん。9月から会議を重ね、成人式当日に向け準備をしました。式典後、祝賀会が行われ、久しぶりの同級生との再会に新成人達は皆笑顔で、つむる話に花を咲かせていました。

成人式を迎えて

実行委員長
棚 田 進一

いつのまにか実行委員になりました
りさらに実行委員長という大役を仰せ付かり、内心「厄介なことになつた」と始まつた。

「The coming-of-age ceremony」

役員会で何年かぶりに出会つた友人達と積もる話もそそここにこれからやつていく事は山積みでしたが充実した日を送ることが出来ました。

日ばかりが過ぎて行く中で

小学校の恩師のビデオレターを撮りに行き八年ぶりの再会をしました。先生は「立派な成人になつたね」との言葉をかけてくれました。自分では成人になつた自覚はあつたつもりでも、まだどこかに甘えが残つていて人に頼つてしまふ事が多々あります。これは、これから自分の課題で改善していく決意です。

両親はもちろん、地域の方々たくさんの人達に支えられ私は今日あるのだと感じています。

感謝の気持ちを忘れず責任ある行動が出来る人間になれよう努力していきます。

以前ラジオで市内の小、中学校の校歌を集めたCDを作っている所が県内にあると耳にして、誰もがずっと覚えていた校歌が形になつて残るのはいい事だなと思いました。校歌のようになつた歌が座光寺にもあります。『座光寺の歌』です。広報の保存ファイルの内側にあるのを見て初めてその存在を知った私でしたが、その後コーラスグループで歌うようになりました。

難しい言葉が使われていて始めてとつつきにくい印象でした。しかし、地域文化祭に向けて何度も歌つているうちに次第に耳慣れて自然に口ずさめました。六年生の息子も学校で習つてきて文化祭で歌いました。驚いたのは地区の大勢の方々がこの歌を歌えるという事でした。主人も小学校の時に教えてもらつたそうです。子供の時に歌つたり耳にした歌はいつまでも覚えていいます。『座光寺の歌』もこれから小学校でも教えてあげれば、子供の頃から親しみを持ち、いつまでも歌い継がれていくものになるのではないかでしょうか。(佐々木)

編集後記